

事務事業No.		6-	2
事業名	狂犬病予防対策経費	会計 一般	款 4
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	項 1	目 4
施策	9-5 環境衛生対策の推進	課名	みらい環境課
		係名	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	犬の飼い主	目的 (対象がどのような状態になっているか)	狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、畜犬登録を行い予防接種率の向上を図り、環境被害のない健全な生活環境を作る。
事業内容	狂犬病予防法により、狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、犬の飼い主に義務付けられた犬の登録と予防接種率の向上を図り、注射済票の交付を行ない、環境被害のない健全な生活環境を作る。また、畜犬所有者の転出入者の取り扱い、各市町村・保健所からの照会への対応、原簿登録の管理を行っている。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	狂犬病予防注射接種率	89	88		%	↑	96	
2									
3									
			令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			5,519		4,591		5,190		
財源内訳	直接事業費 A		2,879		961		1,560		
	うち一般財源		1,646		0		344		
人件費(千円) B			2,640		3,630		3,630		
内訳	一般職員(人・千円)		0.4	2640	0.55	3630	0.55	3630	
	臨時職員(人・千円)			0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	自治会、動物病院、保健所等と協力し畜犬の未登録、狂犬病予防注射の未接種の防止に努める。野良猫の増加防止対策として、自治会及び地域住民の協力を得ながらTNR事業を実施していく。	③取組の課題	R4.6.1よりペットショップ等で販売する犬猫へのマイクロチップ装着が義務化されているが、他市町との連携体制が整っておらず、登録システムの整備も未了。
②R4年度に実施した取り組み	特に大きな改善に取り組んだことはない(これまで各動物病院に持ち込んでいた犬鑑札等を相手方の了承を得て郵送することとした。)	④今後の改善計画	マイクロチップ義務化への対応は三重県下市町の動向を見極め効率的な運用を図る。TNR事業は三重県でも実施しており、町事業との相違点を整理し改善を検討。飼い犬猫の避妊去勢補助は補助金等見直し調査ではR5リフォームとなっている。効果や近隣市町の状況等整理し、存廃含め事業検討する。